SmartCS / SmartCS mini

各部名称

製品モデル

型式	構成	備考
NS-2240-04	シリアルポート 4ポート	AC電源モデル
NS-2240-16	シリアルポート16ポート	
NS-2240-24	シリアルポート24ポート	
NS-2240-32	シリアルポート32ポート	
NS-2240-48	シリアルポート48ポート	
NS-2240-04D	シリアルポート 4ポート	DC電源モデル
NS-2240-16D	シリアルポート16ポート	
NS-2240-24D	シリアルポート24ポート	
NS-2240-32D	シリアルポート32ポート	
NS-2240-48D	シリアルポート48ポート	

オプション

型式	仕様
NS-354	DB9-RJ45変換コネクタ 4個入り
NS-490	DB9-RJ45変換コネクタ(クロス) 4個入り
NS-495	NS-2240-04用ラックマウントキット

付属品

	NS-2240-04	NS-2240-16/24/32/48
共通	CFカード NS-354 DB9-RJ45変換アダプタ(本装置コンソール用)×1 イーサネットケーブル ユーザマニュアルCD(取扱説明書、設置手順書、コマンドリファレンス)	
AC電源モデル	AC100V電源ケーブル AC100V電源ケーブル用ロック金具	
	ゴム足	外部PCMCIAスロット用CF変換アダプタ ラックマウントキット
DC電源モデル	DC電源ケーブル用コネクタ コネクタ治具(3個)	
	ゴム足	外部PCMCIAスロット用CF変換アダプタ ラックマウントキット

共通仕様

		NS-2240-04	NS-2240-16/24/32	NS-2240-48
LANポート		10BASE-T/100BASE-TX ×1ポート AutoNegotiation対応		
外部拡張スロット		CFカードスロット×1	PCMCIAカードスロット ×1	
装置LED		電源LED、装置ステータスLED(4灯)、 CFカードスロットLED、ポートLED	電源LED、装置ステータスLED(4灯)、 PCMCIAアクセスLED、ポートLED	
シリアルポート		RS232準拠、RJ45コネクタ 設定可能速度:2400, 4800, 9600, 19200, 38400, 57600, 115200(bps) ブレーク信号不正送出抑制機能、DSR信号監視機能 パリティ指定(even/odd/none)、ストップビット長(1bit/2bit)、データ長(7bit/8bit)、フロー制御(ハードウェア/ソフトウェア(送信のみ/受信のみ/双方向)/なし)		
外形寸法		205(W)×223(D)×43(H)mm	426(W)×223(D)×43(H)mm	426(W)×239(D)×43(H)mm
電源	AC電源モデル	AC100V-240V		
	DC電源モデル	DC-48V		
重量		約1.5kg	約3kg	約3.2kg
最大消費電力	AC電源モデル	AC100V:4.7W / AC240V:6.8W	AC100V:10W / AC240V:13W	AC100V:13W / AC240V:15W
	DC電源モデル	4.8W	9.6W	11W
動作環境		温度5～40℃、湿度15～85%(結露なきこと)		

Telnet/SSHホストの統合管理ツール

SmartGS GUIベースでクライアントを統合管理できるツールです。無償評価版もご用意しています。

http://www.seiko-sol.co.jp/hardware/ns/product/SmartGS/SmartGS.html

安全に関するご注意 正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

＊セイコーソリューションズ株式会社で取り扱うNS製品事業は、品質システムの国際規格「ISO9001」の認証を取得しています。

■お問い合わせは

SEIKO

セイコーソリューションズ株式会社
千葉県千葉市美浜区中瀬1-8 〒261-8507
TEL：043-211-1318(本社)/06-7711-0902(大阪)
FAX：043-211-8060(本社)/06-6459-3377(大阪)
ホームページ：http://www.seiko-sol.co.jp
●お問い合わせはフリーダイアル 0120-234-288 へ

14/11/3000/CG

ネットワーク機器をセキュアに統合管理

コンソールサーバ[NS-2240シリーズ]

SmartCS
SmartCS mini

- サーバやネットワーク機器のコンソールポートを最大48ポート収容
- 障害解析のための詳細ログを取得・出力
- アクセス制限や暗号化など充実したセキュリティ
- 環境に応じた電源・ポートのラインアップ
- メモリーカードスロット装備

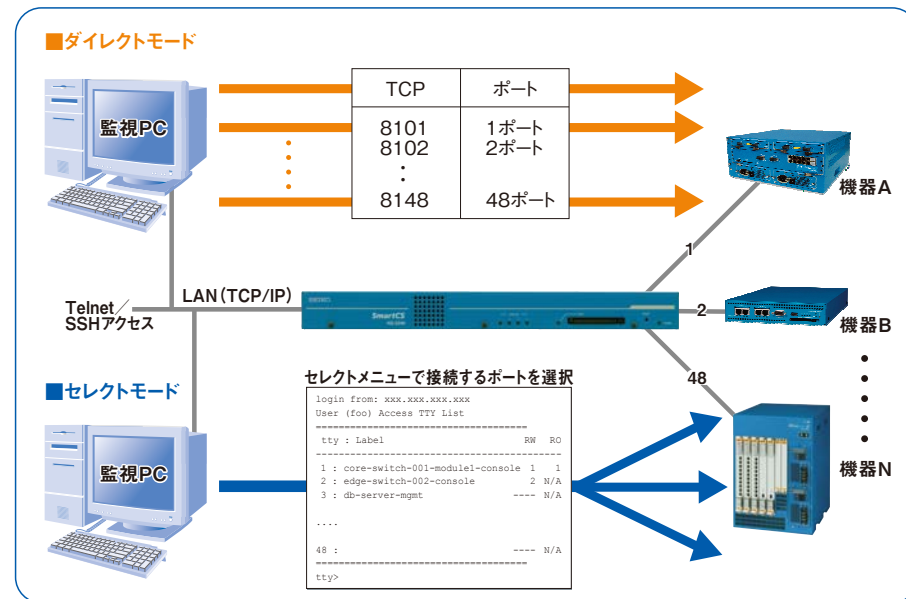
シリアルコンソール、それは最後のライフライン。

ネットワーク機器のコンソールを集約してセキュアな情報基盤を確立

24時間、365日フル稼働する企業ネットワーク。これらを安心・安全・安定的に運用するためには、強固なセキュリティの下、サーバやルータなどネットワーク機器の稼動状況を正確に把握・管理することが不可欠です。コンソールサーバ「SmartCS」は、最大48のコンソールポートを収容し、ネットワークの障害発生時にも確実に対象機器へアクセスできるライフラインの構築を容易にします。

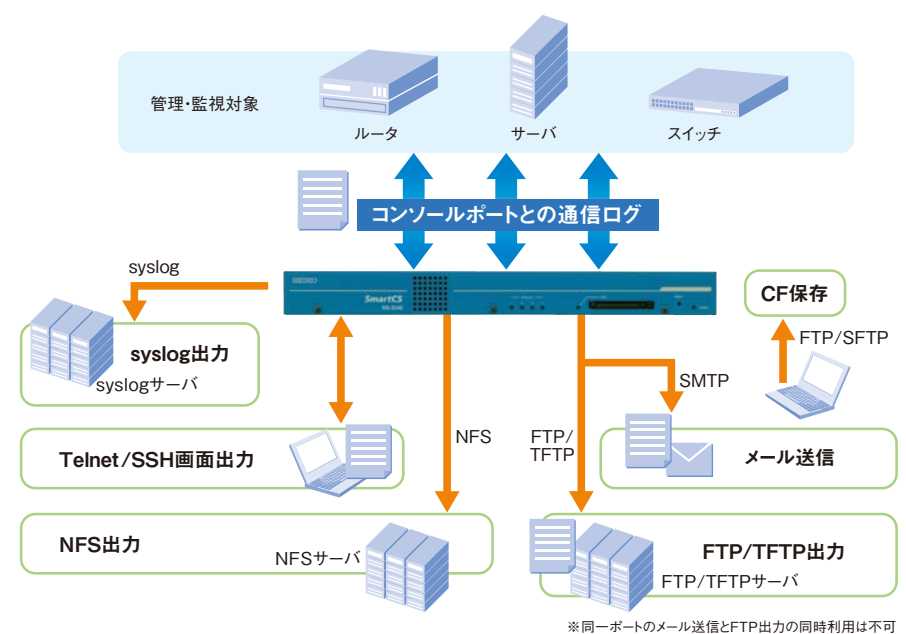
機能 1 コンソール統合
最後のライフライン「コンソールアクセス」を確保

各種ネットワーク機器が有する管理用シリアルポート（コンソールポート）はいかなる時でも確実にアクセスできる「最後のライフライン」であり、装置故障などのメッセージも出力される非常に重要なポートです。このコンソールポートを統合収容し、集中管理を可能にするのがコンソールサーバです。サービス用のネットワークとは別の管理用ネットワークを確保することで、収容機器の障害発生時にもSmartCSを経由して対象機器の管理コンソールへアクセスすることが可能になります。管理端末からSmartCSへのアクセスはTelnet（非暗号化通信）に加えてSSH（暗号化通信）にも対応しており、LAN/WANを介したコンソールポートアクセスをセキュアに実現することができます。

対象機器のアクセス方法には、各シリアルポートに割り当てたTCPポートに対して、直接接続を行う「ダイレクトモード」と、いったんSmartCS自身に接続し、その後メニュー形式で機器の選択と接続を行う「セレクトモード」の2種類を実装しており、ネットワークのポリシーや運用方法に応じて選択することができます。

機能 2 ロギング機能
各種解析に不可欠な接続機器のコンソールログを確実に保存・転送

SmartCSには、コンソールポートへのアクセスを確保するだけでなく、コンソールポートとの通信のログを取得するという大きな特徴があります。コンソールポートからは通常稼動時だけでなく装置の起動・停止の過程や障害発生時などにおいても各種の重要なメッセージが出力されます。これらのメッセージをSmartCS内部に自動的に保存し、FTP、TFTP、NFS、syslog、およびメールでの転送など、さまざまな方法でログデータを送信することができます。

この機能を活用した一例として、SmartCSに収容した管理・監視対象機器と管理端末との各種通信内容（オペレーションログ）の取得・自動転送があげられます。セキュリティの観点からオペレーションログの取得が必要とされている環境において、SmartCSと各種ネットワークサーバを組み合わせることによりオペレーションログの自動取得システムを容易に構築することができます。

※同一ポートのメール送信とFTP出力の同時利用は不可

機能 3 セキュリティ強化
暗号化・アクセス制限により不正アクセスを防止

SmartCSではアクセス制御と通信の暗号化によりセキュアなコンソールアクセスを実現しています。シリアルポート毎にアクセス方式を設定したり、シリアルポートへのアクセス権を持つユーザやそのユーザが所属するグループに対して接続を許可するシリアルポートを登録できますので、権限を持たない機器へのアクセスを確実に防ぐことができます。

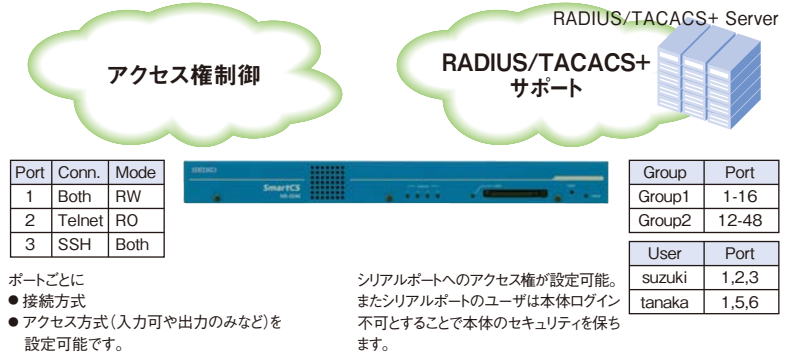
さらにRADIUS/TACACS+サーバを活用することで、複数のコンソールサーバを運用するような大規模ネットワークにおいても共通のアクセスポリシーを適用することができます。通信においてもSSHv2およびSFTPによる暗号化プロトコルと公開鍵認証をサポートしていますので安全です。

Port	Conn.	Mode
1	Both	RW
2	Telnet	RO
3	SSH	Both

ポートごとに
●接続方式
●アクセス方式（入力可や出力のみなど）を設定可能です。

Group	Port
Group1	1-16
Group2	12-48

User	Port
suzuki	1,2,3
tanaka	1,5,6

シリアルポートへのアクセス権が設定可能。またシリアルポートのユーザ以外は本体ログイン不可とすることで本体のセキュリティを保ちます。

機能 4 運用支援

■ ポートミラー

管理端末と対象機器の通信内容をモニターするポートミラー機能を装備しています。実際にオペレーションが行われている状態を別の端末からモニターすることで、コマンド投入時の読み合わせ確認などを別々の拠点間で行うことが可能になります。

■ 統合管理ツール SmartGS

SmartGSはコンソールサーバを含む各種Telnet/SSHホストを統合管理するGUIソフトウェアです。
SmartCSと組み合わせることで、大規模なネットワークの各種機器を一元管理することが可能です。

■ CF設定保存機能

設定情報をコンパクトフラッシュ（CF）カードに保存可能。機器に障害が発生した場合CFカードを代替機に差し替えるだけで設定を継承することができます。復旧時間の短縮に加えて、設定流し込みに伴う二次障害リスクを抑制し、作業員の負荷を軽減します。

■ DSR信号監視

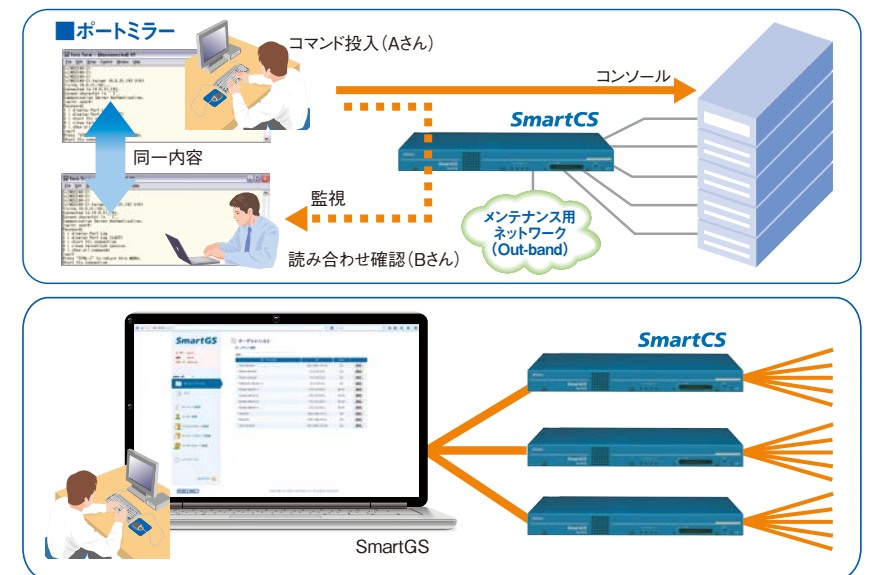
シリアルポートのDSR信号のON/OFFを検知し、SNMPエージェント機能により外部SNMPサーバにTrapを送出します。監視対象機器のダウン直前のログをSmartCSが取得するので、ログの解析と素早いシステム復旧が可能です。

その他の機能

■ 長時間、安定稼働する信頼性

機能面の充実を図る一方で、評価の高い装置の安定性をさらに追求した製品となっております。専用装置ならではの低い消費電力により発熱を抑制し、ファンレス設計を実現。静音性はもちろん、製品の安定性にも貢献しています。

■ ブレーク信号不正送出抑制機能

電源ON/OFF時やリブート時にシリアルポートに対して不正なブレーク信号を送出することがありません。

製品情報Web

豊富な接続実績や、技術情報、
最新のファームウェアの入手はこちらから。

http://www.seiko-sol.co.jp/hardware/ns/product/SmartCS/ns2240.html